

～ 至高の《クロイツェル》！ ～
ベルリンを拠点に世界で活躍する、二つの才能。
今、響きあう。

ヴァイオリン

ピアノ

金川真弓 & 小菅 優

デュオ・リサイタル

MAYUMI KANAGAWA

VIOLIN

&

YU KOSUGE

PIANO

DUO RECITAL

PROGRAM

シューベルト

Franz Schubert

ヴァイオリンとピアノのためのソナチネ第1番

Sonatina for Violin & Piano No. 1 in D major, op. 137-1, D 384

ベートーヴェン

Ludwig van Beethoven

ヴァイオリンとピアノのためのソナタ第9番『クロイツェル』

Sonata for Violin & Piano No. 9 in A major, op. 47, "Kreutzer"

バルトーク

Béla Bartók

ラプソディ第1番

Rhapsody No. 1, Sz. 86

ヴァイオリンとピアノのためのソナタ第2番

Sonata for Violin & Piano No. 2, Sz. 76

©Kei Osada

©Takehiro Goto

2027.

2/23

火・祝

2:00PM開演(1:30PM開場)

A ¥5,000 B ¥4,000 (税込/全席指定)

☎0798-68-0255

(10:00AM - 5:00PM 月曜休み ※祝日の場合翌日)

<https://www.gcenter-hyogo.jp>

インターネット予約
※窓口での販売(残席がある場合)は10/12(月・祝)より

兵庫県立芸術文化センター 神戸女学院小ホール

〒663-8204 兵庫県西宮市高松町2-22 阪急西宮北口駅南改札口スグ/JR西宮駅より徒歩15分(阪急バス7分)

芸術文化センター会員
先行予約受付開始

10/10 土



兵庫県立
芸術文化センター



※車いす席はお電話でのみ販売しております。 ※未就学児童はご入場いただけません。
※やむを得ない事情により、出演者・曲目等が変更となる場合があります。あらかじめご了承ください。

主催：兵庫県、兵庫県立芸術文化センター

2022年10月KOBELCO大ホール
リサイタルより

金川真弓 × 小菅 優

クロイツェル・ソナタの極致

彗星のごとく現れたヴァイオリニスト、金川真弓。近年はエネスク国際コンクール優勝でも大きな注目を集め、ここ芸術文化センターでも協奏曲、リサイタル、ベルリンの仲間たちとの室内楽で、その並外れた存在感を示してきた。聴衆を魅了するだけでなく、指揮者や共演者からの信頼も厚く、共演のオファーが絶えない。

そんな金川に強く惹かれたのが、今年3月、この芸術文化センターでも4年間にわたる「ソナタ・シリーズ」を完結させたピアニスト、小菅優である。真摯に音楽と向き合い、心の襞の奥深くに分け入る演奏で国内外で高い評価を築いてきた小菅は、金川について「音楽に対して愛がある」「アイデアに溢れ、素直で純粋な人」と語る。二人の出会いは2021年。以来、小菅のプロジェクトに金川の存在は欠かせないものとなり、同じベルリンを拠点とする二人は、音楽の内外を問わず親交を深めてきた。

金川真弓と小菅優。二人に共通するのは、音楽そのものが放つ静かな引力で、聴く人を自然と惹きつける力ではないか。だからこそ、二人が奏でるベートーヴェン《クロイツェル》には大きな期待が寄せられる。ヴァイオリンとピアノが対等に語り合い、ときに鋭く呼応し合いながら、一つの音楽を築き上げる。ベートーヴェンが描いたこの傑作は、互いを深く信頼し、高め合う二人だからこそ、その真価を鮮やかに響かせるだろう。

2026年3月神戸女学院小ホール
ソナタ・シリーズより

金川 真弓 (ヴァイオリン)

MAYUMI KANAGAWA, VIOLIN

2024年ジョルジュ・エネスク優勝をはじめ、19年チャイコフスキー第4位、18年ロン＝ティボー第2位など上位入賞。24年日本製鉄音楽賞、25年ホテルオークラ音楽賞、出光音楽賞受賞。

日本各地のオーケストラ、欧州の主要オーケストラと共演を重ねている。室内楽やアウトリーチでは、トランス＝シベリア芸術祭、ヴェルビエ音楽祭やラインガウ音楽祭等に、日本ではPMF、サントリーホール チェンバーミュージック・ガーデン、東京・春・音楽祭、国際音楽祭 NIPPON にも出演。エクストン・レーベルより『リサイタル (RECITAL)』および『VOYAGE —無伴奏リサイタル—』をリリース。

ドイツ生まれ。4歳から日本でヴァイオリンを始め、その後ニューヨークを経てロサンゼルスに移る。ハンス・アイスラー音楽大学でコリヤ・ブラッハーに師事。現在はブレーメン芸術大学で教えながらベルリンを拠点に演奏活動を行う。

使用楽器は、笹川音楽財団 (旧：日本音楽財団) 貸与のストラディヴァリウス「ウィルヘルミ」(1725年製)。

小菅 優 (ピアノ)

YU KOSUGE, PIANO

9歳より演奏活動を開始し、2005年カーネギーホールで、翌06年には、ザルツブルク音楽祭でそれぞれリサイタル・デビュー。ドミトリエフ、デュトワ、小澤、ノリントン、オラモ、ノットなどの指揮でベルリン響、フランクフルト放送響、シュトゥットガルト放送響、BBC響、NDR北ドイツ放送フィル、サンクトペテルブルク響、フィンランド放送響、フランス放送響、スイス・ロマン管等と共演。ザルツブルク音楽祭ではボゴレリッチの代役としてヘレヴェッヘ指揮カメラータ・ザルツブルクと共演。ベートーヴェンのピアノ付き作品を徐々に取り上げる「ベートーヴェン詣」やピアノ・ソナタに焦点を当てた「ソナタ・シリーズ」等に取り組む。録音は、ソニーから発売している・ライアン・ウィグルスワース指揮 BBC 交響楽団による『藤倉大：ピアノ協奏曲〈インパルス〉&WHIM / ラヴェル：ピアノ協奏曲ト長調』(第77回文化庁芸術祭優秀賞受賞) など数多くリリースし、最新版はリスト、ベルグ、藤倉大のソナタなどを収めた『In One Movement』。

第13回新日鉄音楽賞、第17回出光音楽賞などを受賞。14年に第64回芸術選奨音楽部門 文部科学大臣新人賞、2017年第48回サントリー音楽賞受賞。

便利なアクセス!!

大阪・梅田からも神戸・三宮からも
ホールまで15分
(阪急電車特急乗車の場合)

◎ 阪急 西宮北口駅 南改札口 スグ(連絡デッキで直結)

◎ JR 西宮駅より徒歩15分(阪急バス7分)

※ご来場は、電車・バスなどの公共交通機関をご利用ください。

アクセス



<https://www.gccenter-hyogo.jp>

兵庫県立芸術文化センター
Hyogo Performing Arts Center

先行予約会員へ
ご登録はこちら

